



炭素繊維応用技術研究会

主催：公益財団法人科学技術交流財団、後援：名古屋大学協力会
協力：愛知工研協会

炭素繊維複合材料(CFRP)は、金属等の競合材料と比較して圧倒的な軽量化が実現できるため、自動車をはじめとする幅広い産業分野での需要が増加しています。CFRP技術は地域の中小ものづくり企業から大いに注目されています。

本研究会は全3回の予定で開催します。今年度の講演会の開催については、新型コロナウイルス感染防止のため、原則としてWebセミナーとして開催します。ただし、Web参加できない方を対象に視聴会場も用意します。

《第3回》 令和2年11月25日(水) 13:30~16:30

会場参加も可能な「Zoom」によるWebセミナー

(会場参加の場合の視聴会場) 知の拠点あいち 講習会室

<http://www.aichi-inst.jp/acist/access/>

《プログラム》

13:30~13:35 開会等

13:35~14:45 「将来自動車におけるバイオ系複合材料の可能性について」(Web講演)
講師 金沢工業大学 大学院工学研究科 高信頼ものづくり専攻
教授 影山 裕史 氏

将来の自動車用材料には、電動化や軽量化による走行時のCO₂の大幅削減が求められ、CFRPなどの超軽量高強度複合材料などの量産化も進みつつあります。それとともに素材や素材製造時のCO₂排出への対応として、バイオプラスチックへの期待があったが、強度が低いという課題がありました。それに対して同様にバイオ材料であるセルロースナノファイバーを用いた複合化による強化が注目されています。このバイオ系複合材料の狙いと動向、課題、挑戦について紹介します。

14:45~15:00 休憩

15:00~16:10 「CFRPの特性を活かした製品開発 / そのための設計・加工の基礎知識確認」
(視聴会場にて講演)
講師 GACT 代表 複合材料アドバイザー 石川 源 氏

国内における産業用途へのCFRP用途展開が進んでいないのは、高コスト、生産性に加え、ユーザー・サプライヤーのCFRPについての基礎知識・経験不足にも一因があると考えています。新規ニーズ(出口)の掘り起こしには、「軽くて、強い」に付加できるCFRP特有の特性を理解し、材料素材と作り方の知識が重要です。新製品開発に係る方々が一緒に考えるときに少しでもお役に立てる基礎知識や考え方をご提供します。

16:10~16:30 講師へのコンタクト

講師との意見交換や技術相談などを進めたい方は、その内容と氏名、所属、メールアドレスをコンタクト用紙に記入してください。事務局がまとめて、講師にお渡しします。コンタクト用紙はメールに添付して事前に送付します。

申込方法	下記申込書にご記入の上、11月18日（水）までにFAX又はメール（chusyo@astf.or.jp）にてお申込み下さい。 科学技術交流財団HPからもお申込みいただけます。 ホームページ：http://www.astf.or.jp/astf/hukyu/bunya/h32k102.html	
参加費	全3回分 5,000円（資料代） （研究交流クラブ会員・愛知工研協会会員の方は3,000円） ※なお、ご参加いただけなかった場合も返金は致しません。	
お支払方法	申込み受付後、支払い方法をお知らせします。	
参加方法	会場で参加される方	参加票を持参の上、現地にお越しください（定員40名）。 ※「三密」回避のため、参加人数を絞っております。参加申込書で「視聴会場：利用する」とされた方のみとします（参加票は郵送します） ※発熱、倦怠感、味覚異常など体調がすぐれない方は参加をご遠慮ください ※マスクの着用、手洗いの徹底など感染予防にご留意ください
	Webで参加される方	Webセミナーへの参加方法については締切後にメールでご案内いたします。 ※11月23日（火）の時点でメール未着の場合は、事務局にご連絡ください ※セミナーは、ビデオ会議システム「Zoom」を使用します インターネットに接続され、動画視聴可能なPC又はスマートフォンが必要です

お問合せ先：（公財）科学技術交流財団 業務部 担当：山岸／松田 0561-76-8325

第3回 炭素繊維応用技術研究会 参加申込書（FAX 0561-21-1651）

ふりがな	
会社名	
所在地	〒
ふりがな	
所属・氏名	
連絡先	TEL FAX
	メールアドレス
参加方法	会場参加・Web参加（←○で囲ってください） ※会場参加は東海三県の在住者に限定し、先着40名で締め切らせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、当財団からの各種連絡・情報提供のために利用させていただきます。